

安全対策10か条(地震)

**1 まず身の安全を!**  
ケガをしたら火の始末や避難ができません。家具の転倒や落下物には充分な対策を。

**2 揺れがおさまったら火の始末**  
揺れを感じたら火元から離れる。火元付近には燃えやすいものを置かない習慣を。

**3 戸を開けて出口の確保**  
震動でドアが開かなくなることも。戸を開けて避難口の確保を。

**4 火が出たらすぐ消火**  
万一出火してもあわてず消火を。

**5 あわてて飛びださない**  
飛び出しはケガのもと。冷静な判断を。

**6 狭い路地やブロック塀には近づかない**  
ブロック塀や自動販売機は倒壊の恐れ。すばやく避難を。

**7 協力し合って応急救護**  
地域ぐるみで協力し合って応急救護の体制を。

**8 山崩れ、がけ崩れに注意**  
居住地の自然環境を把握して二次災害防止の心掛けを。

**9 避難は徒歩で**  
マイカーでの避難は危険なうえ緊急出動の障害に。ルールを守る心のゆとりを。

**10 正しい情報を聞く**  
事実はひとつ。間違った情報にまどわされず的確な行動を。

**【災害備蓄品の準備】各ご家庭で3日分の食糧や水の備蓄をお願いします。**

前橋市では、指定避難所になる各小学校・中学校に防災倉庫を設置しています。防災倉庫には、食糧や水、簡易トイレや便袋、発電機や投光器などを備蓄していますが、すべてが十分というわけではありません。皆さん一人ひとりが、災害への備えをしていただくことが大切です。また、避難する際には、保険証やお薬手帳、常用薬などを持参するようにしましょう。

※災害備蓄品は、ホームセンター等で購入できます。

知 災害情報を知る 前橋市では様々な方法で情報発信を行います。情報収集にご活用ください。

**防災行政無線**  
学校屋上のスピーカーなどから緊急情報を放送

**防災ラジオ**  
まえばしCITYエフエム84.5MHzで緊急情報を放送

**市ホームページ**  
各種情報をポータルサイトに掲載  
<http://www.city.maebashi.gunma.jp/>

**まちの安全ツイッター**  
災害情報などをすみやかにツイート  
[https://twitter.com/maebashi\\_anken/](https://twitter.com/maebashi_anken/)

**テレビデータ放送**  
テレビのリモコンにある「dボタン」を押すと、テレビを見ながら気象情報などが確認できます

**緊急速報メール**  
市域内の携帯電話にメール送信  
※登録の有無に関係なく、前橋市内にいる方全員にメールが届きます

**まちの安全ひろメール**  
不審者情報や気象情報、市政情報、火災情報、市民の皆さんの生命・財産に影響を及ぼす可能性がある事案を配信  
※登録はこちらから→

**前橋地方気象台** <http://www.jma-net.go.jp/maebashi/>

**群馬県土砂災害警戒情報** [https://www.dosya-gunma.jp/web\\_pub/](https://www.dosya-gunma.jp/web_pub/)

**群馬県水位雨量情報** [https://www.river-gunma.jp/gunma/top/10/1\\_0\\_1\\_0.html](https://www.river-gunma.jp/gunma/top/10/1_0_1_0.html)

**洪水警報危険度分布** <http://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>

【問い合わせ】前橋市総務部防災危機管理課 (電話：027-898-5935 FAX: 027-221-2813)

危 このマップで知ってほしい 自宅やその周辺の危険性 お住まいの地域やその周辺の災害リスクを確認しましょう!

**主に北部 土砂災害(土石流など)**  
前橋市の北部地域を中心に、土砂災害発生のおそれがある区域があります。

**凡例**

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- 土石流危険区域
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 土石流危険渓流

**警戒区域イエローゾーン**  
土砂災害の恐れがある区域  
●地形条件で設定する  
●過去に発生した災害の実態から定められた地形条件

**特別警戒区域レッドゾーン**  
建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域

●急傾斜地(かけ) ●土石流  
●斜面下部より高さの2倍の距離の範囲(最大で50m) ●地すべり  
●斜面上部より10mの範囲 ●地すべりしている土地の長さと同じ範囲(最大で250m)

建築耐力 土砂等の力 土砂等の力と建築物の耐力を算出し、比較判定により設定する

**主に南部 洪水・浸水害(河川氾濫など)**  
前橋市には、大雨等による河川の増水・氾濫の危険性をお知らせする水位周知河川が5河川(①利根川②桃ノ木川③広瀬川④荒砥川⑤赤城白川)あります。洪水ハザードマップでは、想定最大規模の降雨(およそ1000年に一度の降雨)があったときに想定される浸水の危険性を示しています。

**浸水深凡例**

- 10m ~ 20m
- 5m ~ 10m
- 3m ~ 5m
- 0.5m ~ 3m
- ~ 0.5m

**浸水深の目安**

5.0m  
3.0m  
0.5m

**家屋倒壊等氾濫想定区域凡例**

洪水氾濫 木造家屋が倒壊するような堤防決壊等に伴う氾濫流が発生するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。

河岸浸食 家屋が倒壊するような河岸浸食の発生するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。

**全域 地震(深谷断層帯地震など)**  
前橋市では、深谷断層帯を震源とする地震が発生した場合に、最も大きな被害が発生すると想定されています。

**群馬県の断層(帯)**  
凡例 断層(帯) 想定断層のモデル

**深谷断層帯地震震度分布図**  
震度階級 6強 6弱 5強 5弱

**深谷断層帯地震による前橋市の被害想定 (平成24年度 調査結果)**

- 死者…約70人
- 負傷者…約1800人
- 建物被害(全壊・半壊)約1万3300棟(約7.5%)
- 避難所生活者数(発災1日後)3万1400人(約9.2%)
- 断水被害(発災直後)7万世帯(約53%)

※市内の約半分の世帯で、水が使用できなくなる想定です。水を飲めないのはもちろんですが、トイレを使うこともできません。

※政府地震調査研究推進本部は、平成29年2月に大久保断層を主要活断層に追加しました。現在のところ確かな評価はなく、調査・研究が進められています。